

令和2年9月10日

新型コロナウイルス対策担当大臣

西村 康 稔 殿

緊急要望：劇場・ホール等における客席収容率 50%の緩和を

文化芸術推進フォーラム

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の解除以降、文化芸術界は、感染拡大予防ガイドラインに則った対策を講じた上で、感染拡大防止策を強化しながら公演や芸術活動の再開を慎重に進めてきました。

しかしながら、劇場、ホール、映画館等における活動制限は依然として厳しいものがあり、また芸術家、スタッフ、関連企業や芸術団体は、コロナ禍の収束が未だに見通せない状況が続いています。人々の生活に息づく文化芸術の灯を消すこと無く、文化芸術活動が続けられるよう、以下の措置の早急な実施を強く要望します。

劇場、ホール等における客席収容率制限 50%の速やかな緩和を

現状の感染拡大予防ガイドラインにおいては、客席の収容率について、「前後左右を空けた席配置」として、一律に 50%以内としています。このような客席の収容率では、チケット販売によって、公演等が経済的に成立する採算ラインを大きく下回り、更なる打撃が文化芸術活動に及ぶものと危惧しています。

芸術団体や劇場等の文化施設では、研究機関と連携し、劇場、ホールの舞台上、観客席における飛沫飛散のシミュレーションが数多く実施されています。

その結果から、舞台上での飛沫状況や、観客がマスクを着用し会話をしない状況下であれば、客席における観客間の感染リスクはそれほど高くなく、更に一定規模の空調設備が設置されていれば、屋内であっても劇場、ホール内は決して密閉空間にはならないとの検証結果が出ています。

こういった科学的検証結果も踏まえつつ、50%以内の観客制限を速やかに緩和するよう再検討を求めます。

文化芸術推進フォーラム 構成団体 (22 団体) :

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会／一般社団法人 日本音楽著作権協会／一般社団法人 日本レコード協会／一般社団法人 日本音楽出版社協会／一般社団法人 日本楽譜出版協会／一般社団法人 日本音楽作家団体協議会／芸術家会議／公益社団法人 日本オーケストラ連盟／一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会／公益財団法人 音楽文化創造／一般社団法人 全国楽器協会／公益社団法人 全国公立文化施設協会／劇場等演出空間運用基準協議会／芸術文化振興連絡会<PAN>／一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会／協同組合 日本映画監督協会／協同組合 日本シナリオ作家協会／一般社団法人 日本映画製作者連盟／一般社団法人 日本美術家連盟／一般社団法人 全国美術商連合会／一般社団法人 日本美術著作権協会／一般社団法人 日本写真著作権協会